

「一歩先いくシリーズ」第四弾

## 「一歩先いく 華麗なるインド・トップ10+インデックス」 新規設定のお知らせ

2024年12月2日

### 一歩先いくシリーズの第四弾を新規設定します

このたび、大和アセットマネジメント株式会社（以下、「当社」）は、2024年12月18日に投資初心者からのステップアップをサポートする「一歩先いく」シリーズとして「一歩先いく 華麗なるインド・トップ10+インデックス」（以下、「当ファンド」）を新規設定します。

当ファンドは、インドを代表する企業15社で構成される「Mirae Asset India Select Top 10+指数（配当込み、円ベース）」に連動することをめざして、「グローバルX インド・トップ10+ ETF（銘柄コード：188A）」に投資します。

なお、当ファンドは、NISA成長投資枠※対象ファンドです。

※NISA口座でのお取扱いは販売会社により異なる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。



【ファンド名】 一歩先いく 華麗なるインド・トップ10+インデックス

【ファンドの目的】

Mirae Asset India Select Top 10+ Index（配当込み、円ベース）の動きに連動した投資成果をめざします。

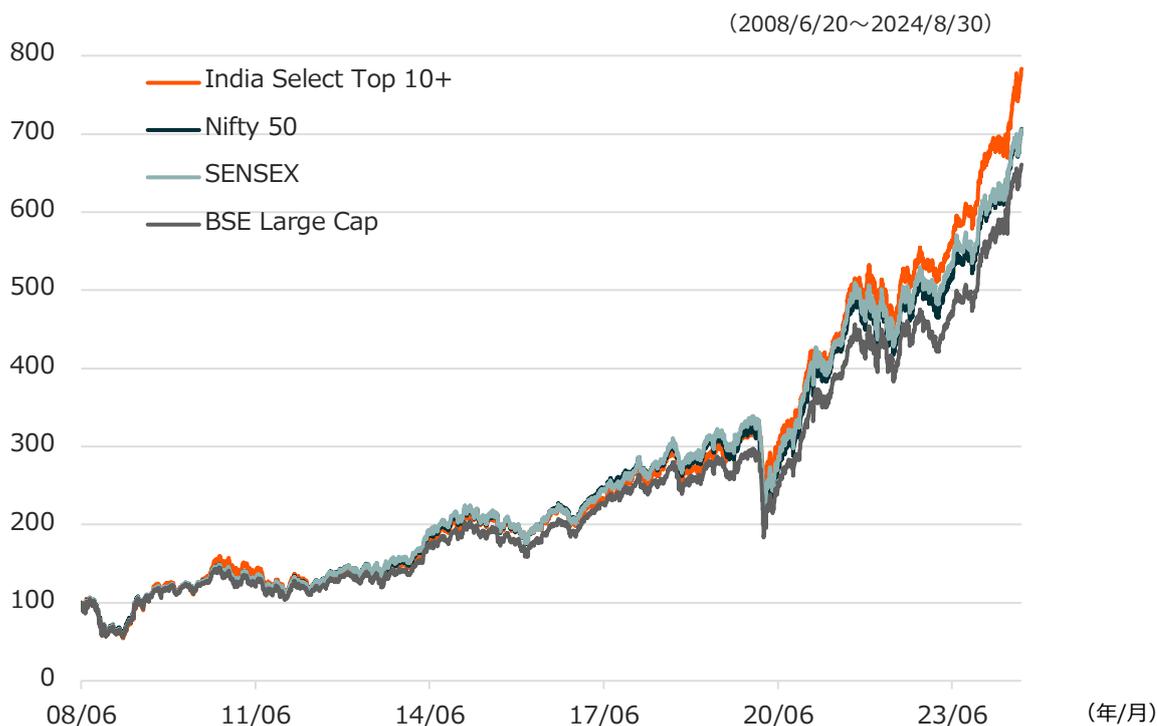
大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

## 対象指数：パフォーマンス

Mirae Asset India Select Top 10+ Indexは指数算出開始来、代表的なインド株式指数と比較して優れたパフォーマンスを実現しており、効率的にインド株式の成長を享受できる指数です。

### 指数算出由来の各種指数とのパフォーマンス比較



※2008/6/20を100として指数化。インドルピー建て、トータルリターンベース。  
(出所) Global X Japan作成資料より大和アセットマネジメント作成

### リスク・リターン

(2008/6/20~2024/8/30)

	India Select Top 10+	Nifty 50	SENSEX	BSE Large Cap
リターン (年率)	12.96%	12.26%	12.26%	11.82%
リスク (年率)	19.06%	19.61%	19.82%	19.52%
リターン/リスク	0.68	0.63	0.62	0.61

※2008/6/20を100として指数化。インドルピー建て、トータルリターンベース。  
(出所) Global X Japan作成資料より大和アセットマネジメント作成

対象指数：メソドロジー

## インド株式（BSE上場）

### 流動性スクリーニング

1日平均売買代金：200万ドル以上  
浮動株比率：15%以上

## 組入候補銘柄

### 関連銘柄の選定

<対象セクター>

- ・ コミュニケーション・サービス
- ・ 情報技術
- ・ 金融
- ・ ヘルスケア
- ・ 生活必需品
- ・ 一般消費財・サービス
- ・ 資本財サービス
- ・ エネルギー
- ・ 素材

各セクターから時価総額上位2銘柄を抽出  
※各セクターで対象となる業種数  
(GICS産業サブグループ) は以下の通り

- ・ コミュニケーション・サービス： 3業種
- ・ 情報技術： 4業種
- ・ 金融： 8業種
- ・ ヘルスケア： 7業種
- ・ 生活必需品： 4業種
- ・ 一般消費財・サービス： 7業種
- ・ 資本財サービス： 9業種
- ・ エネルギー： 6業種
- ・ 素材： 17業種

## 投資候補銘柄

①各セクターにおいて時価総額1位の銘柄を選定

②残った組入候補銘柄の中から、15銘柄になるまで時価総額が大きい順に選定

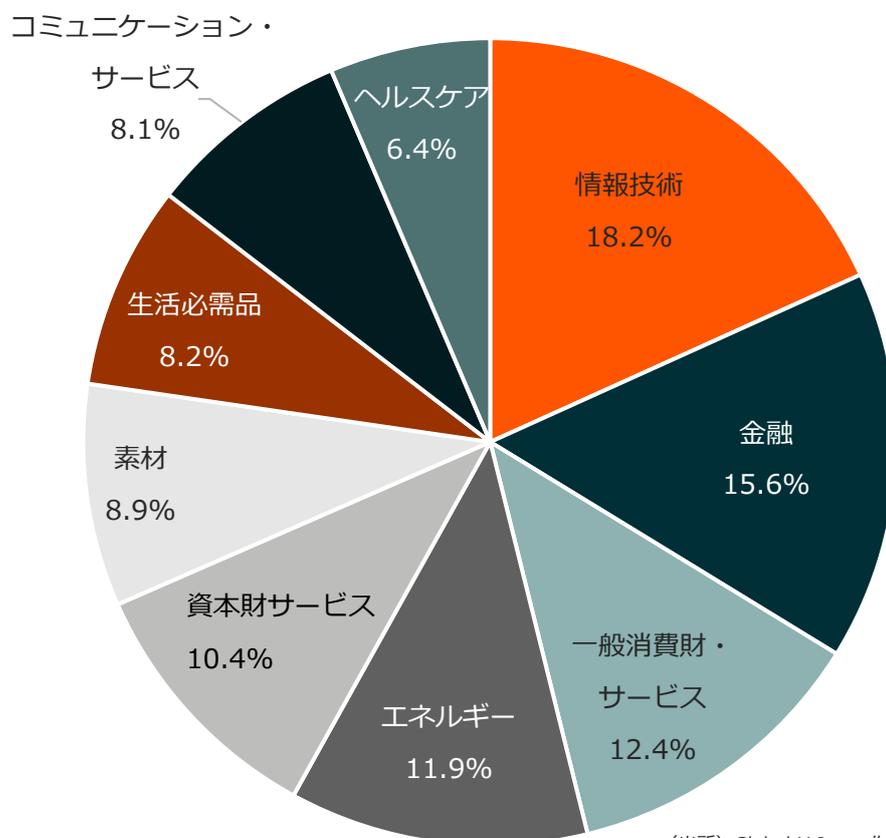
## 組入銘柄 15銘柄

浮動株調整後時価総額加重により  
比率を決定  
(1銘柄あたり上限：8%)

銘柄入替および比率調整：年2回（6月、12月）

## 対象指数：セクター内訳・構成銘柄

### ■ GICSセクター内訳



(出所) Global X Japan作成資料より大和アセットマネジメント作成

### ■ 構成銘柄一覧

銘柄名	GICSセクター	組入比率
インフォシス	情報技術	9.53%
タタ・コンサルタンシー・サービスズ	情報技術	8.67%
ヒンドウスタン・ユニリーバ	生活必需品	8.18%
パーティ・エアテル	コミュニケーション・サービス	8.12%
I C I C I 銀行	金融	8.11%
H D F C 銀行	金融	7.48%
リライアンス・インダストリーズ	エネルギー	7.46%
ラーセン&トuppロ	資本財サービス	7.33%
タタ・モーターズ	一般消費財・サービス	6.61%
サン・ファーマシューティカル・インダストリーズ	ヘルスケア	6.39%
マルチ・スズキ・インドア	一般消費財・サービス	5.75%
ウルトラ・テック・セメント	素材	4.46%
アジアン・ペイント	素材	4.44%
インド石油ガス公社	エネルギー	4.42%
ヒンドスタン航空機	資本財サービス	3.05%

(出所) Global X Japan作成資料より大和アセットマネジメント作成

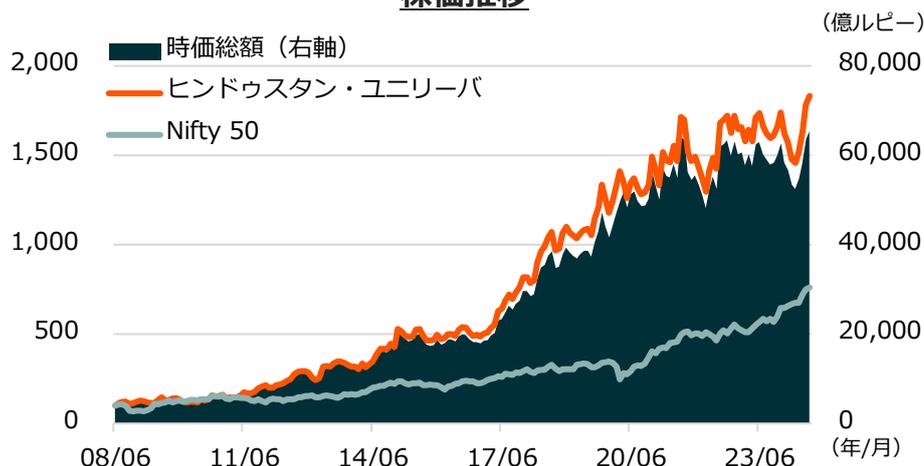
## 銘柄紹介①ヒンドゥスタン・ユニリーバ

【Ticker : HUVR】  
ヒンドゥスタン・ユニリーバ

GICSセクター：  
生活必需品

ヒンドゥスタン・ユニリーバ (Hindustan Unilever Limited) は消費者製品メーカー。石鹸、洗剤、パーソナルケア製品、加工食品、アイスクリーム、食用油、その他関連製品を提供する。世界各地で事業を展開。

### 株価推移



※株価および指数は起点を100として指数化（トータルリターンベース、インドルピー建、月次）  
※期間：2008/6/30-2024/8/31 ※個別銘柄の推奨、今後の組入を示唆・保証するものではありません。  
（出所）Global X Japan作成資料より大和アセットマネジメント作成

## 銘柄紹介②ICICI銀行

【Ticker : ICICIBC】  
ICICI銀行

GICSセクター：  
金融

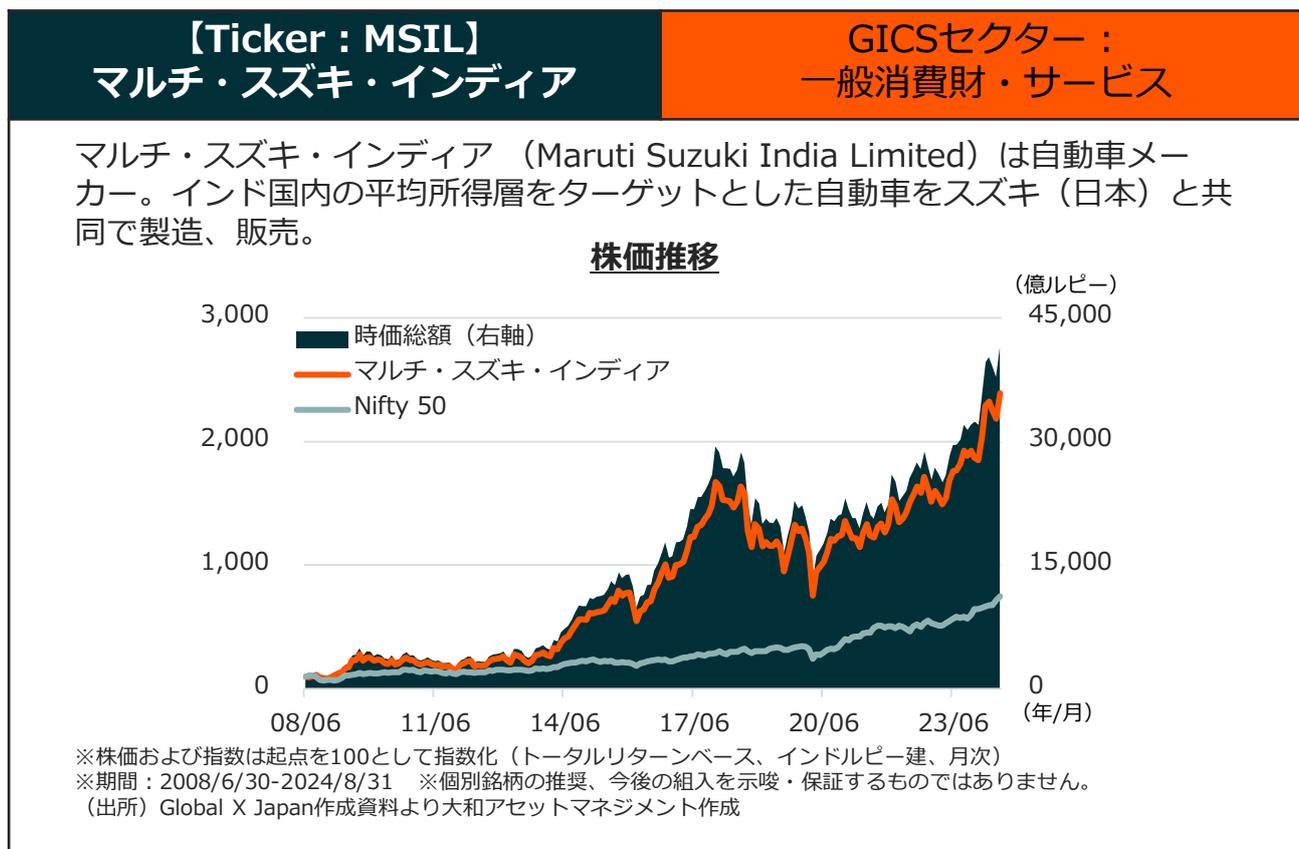
ICICI銀行 (ICICI Bank Limited) は銀行。普通預金口座、ローン、デビットカード、クレジットカード、保険、投資、住宅ローン、およびオンラインバンキングの各サービスを提供する。世界各地で事業を展開。

### 株価推移

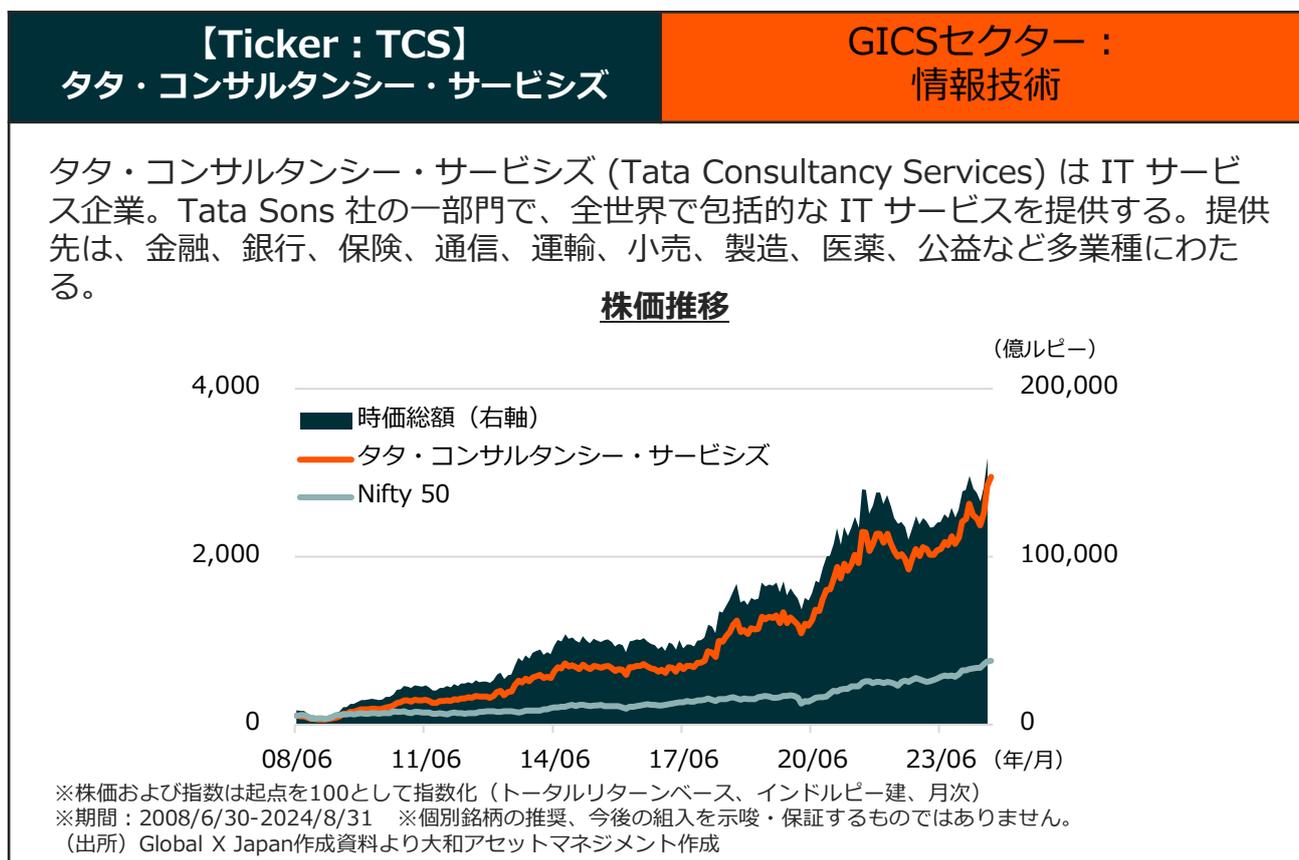


※株価および指数は起点を100として指数化（トータルリターンベース、インドルピー建、月次）  
※期間：2008/6/30-2024/8/31 ※個別銘柄の推奨、今後の組入を示唆・保証するものではありません。  
（出所）Global X Japan作成資料より大和アセットマネジメント作成

## 銘柄紹介③マルチ・スズキ・インディア



## 銘柄紹介④タタ・コンサルタンシー・サービスズ



## 対象指数：構成銘柄の変遷

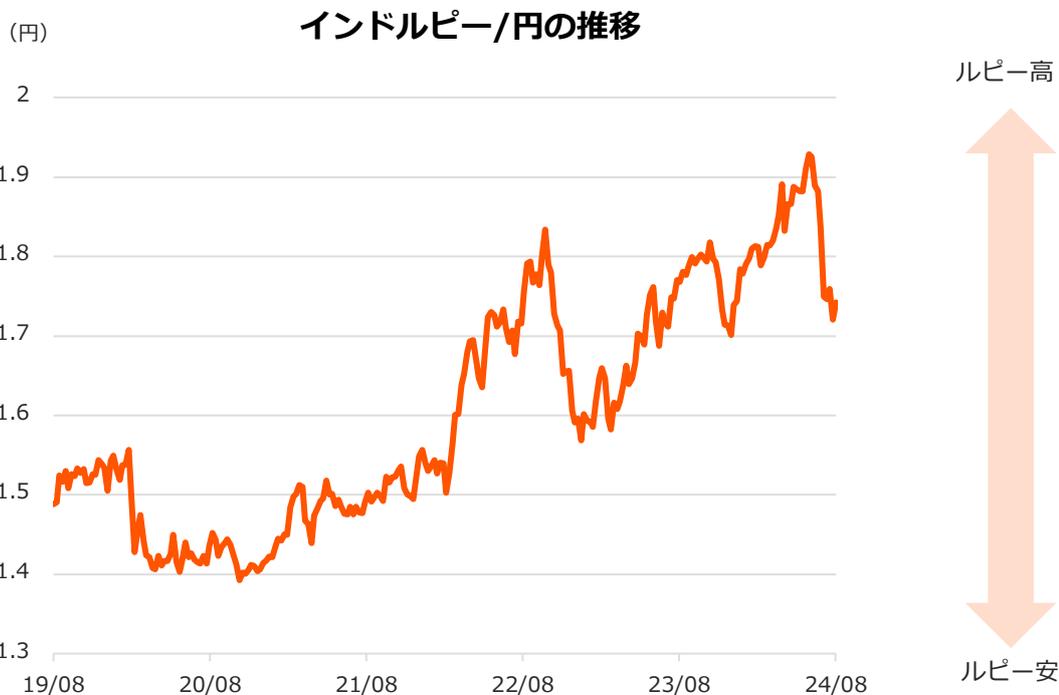
24年11月現在の  
構成銘柄

銘柄名	セクター	20年 6月	20年 12月	21年 6月	21年 12月	22年 6月	22年 12月	23年 6月	23年 12月	24年 6月
リライアンス・ インダストリーズ	エネルギー	●	●	●	●	●	●	●	●	●
タタ・コンサルタンシー・ サービスズ	情報技術	●	●	●	●	●	●	●	●	●
HDFC銀行	金融	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ヒンドウスタン・ユニリーバ	生活必需品	●	●	●	●	●	●	●	●	●
バーティ・エアテル	コミュニケーション・ サービス	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ラーセン&トウブロ	資本財サービス	●	●	●	●	●	●	●	●	●
インフォシス	情報技術	●	●	●	●	●	●	●	●	●
マルチ・スズキ・ インド	一般消費財・ サービス	●	●	●	●	●	●	●	●	●
アジアン・ペインツ	素材	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ネスレ・インド	生活必需品	●	●	●	●	●	●	●	●	-
サン・ファーマシューティ カル・インダストリーズ	ヘルスケア	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ウルトラ・テック・セメント	素材	●	●	●	●	●	●	●	●	●
タイタン	一般消費財・ サービス	●	●	●	●	●	●	●	●	-
インド石油ガス公社	エネルギー	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ICICI銀行	金融	-	-	-	●	●	●	●	●	●
タタ・モーターズ	一般消費財・ サービス	-	-	-	-	-	-	-	-	●
ヒンドスタン航空機	資本財サービス	-	-	-	-	-	-	-	-	●

(出所) (出所) Global X Japan作成資料より大和アセットマネジメント作成

## ご参考：為替推移

また、主要新興国債券インデックスにインド国債の組入\*が決まっており、国際的なプレゼンス向上などインドルピーへのプラス影響が期待されています。

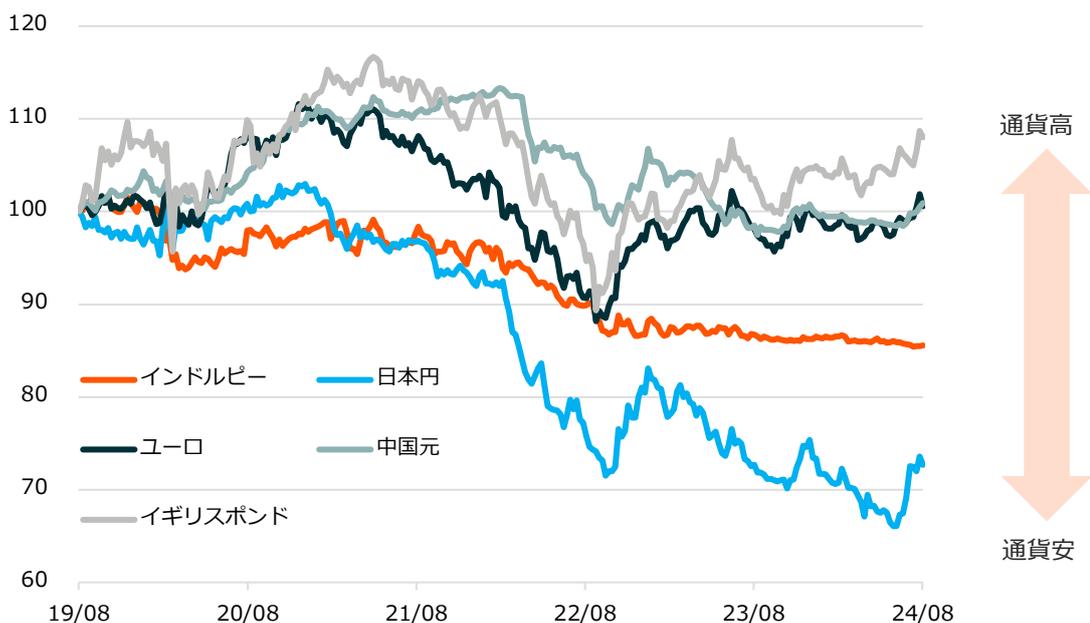


※期間：2019年8月30日～2024年8月30日（週次）

（出所）Global X Japan作成資料より大和アセットマネジメント作成

\*JPモルガンの新興国債券指数シリーズ。2023年9月に組入が発表された。2024年6月28日から組入が開始され、2025年3月31日に終了予定。対象となるのは国債23銘柄で、額面総額は3,300億ドル。

## 通貨比較（対ドル）



※期間：2019年8月30日～2024年8月30日（週次）、起点を100として指数化。

（出所）Global X Japan作成資料より大和アセットマネジメント作成

## 一步先いく 華麗なるインド・トップ10+インデックス

※お申込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

### ■ ファンドの目的・特色

#### ファンドの目的

Mirae Asset India Select Top 10+ Index (配当込み、円ベース)の動きに連動した投資成果をめざします。

#### ファンドの特色

投資成果をMirae Asset India Select Top 10+ Index (配当込み、円ベース)の動きに連動させることをめざして、Global X Japanが運用するグローバルX インド・トップ10+ ETFに投資します。

※ETF（上場投資信託証券）は、上場株式同様、市場で取引が行なわれ、市場の需給の影響を受けて価格が決定されます。需給環境の変化等により当該ETFの価格が大きく変動した場合には、当ファンドの基準価額と対象指数の連動率が低下する場合があります。

「Mirae Asset India Select Top 10+ Index (配当込み、円ベース)」は、「Mirae Asset India Select Top 10+ Index (配当込み、インド・ルピーベース)」をもとに大和アセットマネジメントが円換算したものです。

#### (ご参考) Mirae Asset India Select Top 10+ Indexについて

- Mirae Asset India Select Top 10+ Indexは、Mirae Asset Global Index Private Limitedが開発したインドを代表する企業15社で構成される株式インデックスです。
- ボンベイ証券取引所（BSE）に上場している1日平均売買代金200万米ドル以上の銘柄をユニバースとし、以下に挙げる9つのセクターにおいて時価総額上位2位に入る銘柄を組入候補銘柄とします。
  - \*対象セクター  
金融、情報技術、一般消費財・サービス、生活必需品、コミュニケーション・サービス、エネルギー、素材、資本財サービス、ヘルスケア
- 組入候補銘柄の中から各セクターで時価総額1位の銘柄を選定します。加えて、上記以外の組入候補銘柄の中から時価総額の大きい順に15銘柄になるまで選定し、合計15銘柄が指数構成銘柄となります。
- 各銘柄は浮動株調整後時価総額加重により構成比率が決定されます（ただし、1銘柄あたり最大8%。）。
- 原則として毎年6月および12月の第三金曜日に指数構成銘柄および構成比率の見直しを行ないます。

※上記は、投資対象ファンドの交付目論見書から引用したものです。

※当ファンドの目論見書作成時点の情報に基づくものであり、変更となる場合があります。

## 一步先いく 華麗なるインド・トップ10+インデックス

※お申込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

### 追加的記載事項

#### ●基準価額の動きに関する留意点

当ファンドは、Mirae Asset India Select Top 10+ Index（配当込み、円ベース）の動きに連動する投資成果をあげることをめざして運用を行いません。ただし、主として次の理由から、基準価額の動きが指数と完全に一致するものではありません。

- (a) 投資対象である上場投資信託証券の株式組入比率が指数構成銘柄と全く同一の比率とならない可能性があること
- (b) 投資対象である上場投資信託証券と指数の動きの不一致
- (c) 投資対象である上場投資信託証券の終値と基準価額の不一致
- (d) 当ファンドおよび投資対象である上場投資信託証券の運用管理費用（信託報酬）、売買委託手数料等の費用負担
- (e) 資金の流出入のタイミングと当ファンドが投資対象である上場投資信託証券を売買するタイミング、当該上場投資信託証券が組入証券を売買するタイミングの不一致
- (f) 投資対象である上場投資信託証券の配当金や権利処理等によって当ファンドの信託財産に現金が発生すること

#### ●指数の著作権等について

Mirae Asset Global Index Private Limitedが提供するインデックスまたはその他の製品もしくはサービスの公表および管理に関して提供する情報は、証券、金融商品、製品もしくは取引戦略の売買または保証、スポンサーシップもしくは推薦と見なすべきではない。Mirae Asset Global Indexは、いかなる状況または側面においても、そのインデックスまたはインデックス値を使用することから得られる情報または結果の正確性、適時性、完全性または適切性について、明示的にも黙示的にも、主張、予測、保証または確約を行わない。Mirae Asset Global Indexは、インデックスが正しく計算されるよう最善の努力を払う。本インデックスまたはその中に含まれるデータに関する商品性または特定目的もしくは使用への適合性に関する明示または黙示の保証は一切行わず、また明示的にすべての保証を否認する。前記事項を制限することなく、Mirae Asset Global Indexは、いかなる場合にも、特別損害、懲罰的損害、間接損害または派生的損害（逸失利益を含む）について、当該損害の可能性について通知されていたとしても、一切責任を負わないものとする。

## 一步先いく 華麗なるインド・トップ10+インデックス

※お申込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

### 投資リスク

#### 基準価額の変動要因

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。
- 投資信託は預貯金とは異なります。

〈主な変動要因〉

 <p>株 価 の 変 動 (価格変動リスク・ 信用リスク)</p>	<p>株価は、政治・経済情勢、発行企業の業績、市場の需給等を反映して変動します。発行企業が経営不安、倒産等に陥った場合には、投資資金が回収できなくなることもあります。組入銘柄の株価が下落した場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。</p> <p>新興国の証券市場は、先進国の証券市場に比べ、一般に市場規模や取引量が小さく、流動性が低いことにより本来想定される投資価値とは乖離した価格水準で取引される場合もあるなど、価格の変動性が大きくなる傾向が考えられます。</p> <p>当ファンドは、一銘柄当たりの組入比率が高くなる場合があり、より多数の銘柄に分散投資した場合に比べて基準価額の変動が大きくなる可能性があります。</p>
 <p>為 替 変 動 リ ス ク</p>	<p>外貨建資産については、資産自体の価格変動のほか、当該外貨の円に対する為替レートの変動の影響を受けます。組入外貨建資産について、当該外貨の為替レートが円高方向に進んだ場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。</p> <p>特に、新興国の為替レートは短期間に大幅に変動することがあり、先進国と比較して、相対的に高い為替変動リスクがあります。</p>
 <p>カ ン ト リ ー ・ リ ス ク</p>	<p>投資対象国・地域において、政治・経済情勢の変化等により市場に混乱が生じた場合、または取引に対して新たな規制が設けられた場合には、基準価額が予想外に下落したり、方針に沿った運用が困難となることがあります。</p> <p>新興国への投資には、先進国と比べて大きなカントリー・リスクが伴います。</p>
そ の 他	<p>解約資金を手当てするため組入証券を売却する際、市場規模や市場動向によっては市場実勢を押下げ、当初期待される価格で売却できないこともあります。この場合、基準価額が下落する要因となります。</p>

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

#### [ETFの集中投資に関する留意点]

当ファンドは特定のETFへ集中的に投資するため、当該ETFが受ける価格変動リスクや運営上のリスク（償還や上場廃止等）の影響を受けます。

## 一步先いく 華麗なるインド・トップ10+インデックス

※お申込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

### その他の留意点

- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- 当ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要性が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。  
これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受付が中止となる可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性があります。
- インドの金融商品取引所で取引されている株式は、インドの税制に従って課税されます。インドにおける、非居住者による株式の売却益（キャピタル・ゲイン）に対する税負担等が、基準価額に影響を与える可能性があります。また、外国人機関投資家の保有比率等に制限のある銘柄を投資対象とする場合には、運用上の制約を受ける場合があります。インドの税制・制度等は、変更となる場合があります。

### Ⅰ ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 ※徴収している販売会社はありません。	—
信託財産留保額	ありません。	—
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用 (信託報酬)	年率0.0825% (税抜0.075%)	運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。運用管理費用は、毎日計上され日々の基準価額に反映されます。
配分 (税抜) (注1)	委託会社	年率0.03%
	販売会社	年率0.03%
	受託会社	年率0.015%
投資対象とする E T F (目論見書作成時点)	年率0.4125%(税抜0.375%)以内 ※この他にも費用等があります。詳細は「投資対象ファンドの概要」をご参照下さい。	投資対象ファンドにおける運用管理費用等です。
実質的に負担する 運用管理費用 (目論見書作成時点)	<b>年率0.495%(税込)以内</b>	
その他の費用・ 手数料	(注2)	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただけます。

(注1)「運用管理費用の配分」には、別途消費税率を乗じた額がかかります。

(注2)「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※運用管理費用の信託財産からの支払いは、毎計算期間の最初の6か月終了日（休業日の場合翌営業日）および毎計算期末または信託終了時に行なわれます。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

## 一步先いく 華麗なるインド・トップ10+インデックス

※お申込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

### お申込みメモ

 購入時	購入単位	最低単位を1円単位または1口単位として販売会社が定める単位
	購入価額	購入申込受付日の基準価額（1万口当たり）
	購入代金	販売会社が定める期日までにお支払い下さい。

 換金時	換金単位	最低単位を1口単位として販売会社が定める単位
	換金価額	換金申込受付日の基準価額（1万口当たり）
	換金代金	原則として換金申込受付日から起算して4営業日目からお支払いします。

 申込について	申込受付中止日	① ナショナル証券取引所（インド）の休業日 ② ①のほか、一部解約金の支払い等に支障を来すおそれがあるとして委託会社が定める日 (注) 申込受付中止日は、販売会社または委託会社にお問合わせ下さい。
	申込締切時間	原則として、午後3時30分まで（販売会社所定の事務手続きが完了したもの） なお、販売会社によっては異なる場合がありますので、くわしくは販売会社にお問合わせ下さい。
	購入の申込期間	2024年12月18日から2026年3月9日まで (終了前に有価証券届出書を提出することにより更新されます。)
	換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行なうために大口の換金申込みには制限があります。
	購入・換金申込受付の中止および取消し	金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止その他やむを得ない事情が発生した場合には、購入、換金の申込みの受け付けを中止すること、すでに受け付けた購入、換金の申込みを取消すことがあります。

 その他	信託期間	2050年12月16日まで（2024年12月18日当初設定）
	繰上償還	<ul style="list-style-type: none"> <li>●グローバルX インド・トップ10+ ETFが上場廃止となる場合には、委託会社は、受託会社と合意のうえ、信託契約を解約し、信託を終了（繰上償還）させます。</li> <li>●次のいずれかの場合には、委託会社は、事前に受益者の意向を確認し、受託会社と合意のうえ、信託契約を解約し、繰上償還できます。               <ul style="list-style-type: none"> <li>・受益権の口数が30億口を下ることとなった場合</li> <li>・信託契約を解約することが受益者のため有利であると認めるとき</li> <li>・やむを得ない事情が発生したとき</li> </ul> </li> </ul>
	決算日	毎年12月16日（休業日の場合翌営業日） (注) 第1計算期間は、2025年12月16日（休業日の場合翌営業日）までとします。
	収益分配	年1回、収益分配方針に基づいて収益の分配を行いません。 (注) 当ファンドには、「分配金再投資コース」と「分配金支払いコース」があります。なお、お取扱い可能なコースおよびコース名については異なる場合がありますので、販売会社にお問合わせ下さい。
	信託金の限度額	3,000億円
	公告	電子公告の方法により行ない、ホームページ [https://www.daiwa-am.co.jp/] に掲載します。
	運用報告書	毎計算期末および償還時に作成し、交付運用報告書をあらかじめお申出いただいたご住所にお届けします。また、電子交付を選択された場合には、所定の方法により交付します。
	課税関係	課税上は株式投資信託として取扱われます。配当控除、益金不算入制度の適用はありません。公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合にNISA（少額投資非課税制度）の適用対象となります。当ファンドは、NISAの「成長投資枠（特定非課税管理勘定）」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。くわしくは、販売会社にお問合わせ下さい。 ※2024年9月末現在のものであり、税法が改正された場合等には変更される場合があります。

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

### 〈委託会社〉

商号等 大和アセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号  
加入協会 一般社団法人投資信託協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

### 当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和アセットマネジメント株式会社が作成したものです。
- 当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認くださいのうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失はすべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。
- 投資信託は預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は投資者保護基金の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の皆さまの実質的な投資成果を示すものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。記載する投資判断は現時点のものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。
- 当資料中で個別企業名が記載されている場合、あくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。
- 分配金は収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。